

「キーワード」の働きに注目し、 作品を読み深める

さ東・大川中 井上 真帆

1 はじめに

物語の授業をする際、これまでは登場人物の行動や言動、情景描写等から読み進めることが多かった。教材「盆土産」は「えびフライ」という言葉が多く出てくる教材である。「盆土産」の「キーワード」である「えびフライ」に注目し、「えびフライ」という言葉の働きを考えながら物語を味わって読むことに挑戦した。

最終的に、「キーワード」と題材名との関連性について授業で学習したことを通して考えることを目標に取り組んだ。

2 授業実践

(1) 題材について

① 本題材は、高度経済成長期に出稼ぎに出た父が盆に土産を持って家族のもとに帰ってくる話である。学習指導要領 C(1)ア〔読むこと〕の「登場人物の設定の仕方を捉えること」C(1)イ〔読むこと〕の「登場人物の言動の意味などについて考えて内容を解釈すること」を目標としている。登場人物の言動や情景を表す言葉に着目し、作品から受ける印象を考えたり、場面の描写や時代背景を調べることにより、登場人物の相互関係や人物像をより深く考え、読み取ったりすることにつながる題材である。

② 本学級の生徒は素直で、課題に対して前向きに取り組むことができる。また、自分の思いや考えを学級や班活動の中で意欲的に話すこともできる。7年時に「少年の日の思い出」で主人公と登場人物の関係や心情の変化を考えながら読む学習をした。8年時の「アイスプラネット」では登場人物の人物像や相互関係を会話文を読んだり、行動描写から読み取り、考えたりすることで、より深く読もうとする姿勢が見られるようになった。しかし、板書をノートに書き写すことや自分の考えを書くことに苦手

意識がある生徒が多くみられる。

③ 上記の内容を踏まえ、本題材を指導するにあたって、次の点に留意する。

・時代設定が高度経済成長期であり、生徒が知らないことや分からない言葉も出てくることが考えられるため、タブレットや辞書等を用いて調べることができるようにする。使用の際は時間を設定し、調べ学習ばかりにならないように配慮する。また、調べただけではなく、教科書の内容との関連付けを的確に行う。

・学級で発表する前に、班で話し合う時間を設け、人前で意見を言うことに抵抗がある生徒の考えが埋もれないようにする。

(3) 題材の目標

・キーワード「えびフライ」に注目し、作品を読むことができる。

・級友の意見を聞き、自分の考えをより深めることができる。

(4) 学習指導計画

① 物語を通読し、キーワードとなる部分に線を引く。……1時間

② 物語の場面分けをし、時代背景を捉えたり、登場人物同士の関係を考えたりする。……1時間

③ 作品の構成を考え、場面1と場面2における「えびフライ」の働きを考える。……2時間

④ 場面3の「えびフライ」の働きを考え、題材名との関連性を考える。……本時

⑤ 学習の振り返りをする。……1時間

3 成果と課題

「キーワード」に注目して学習を進めることは生徒の関心を引くことにはつながるが、「キーワード」から読みを深めるということは難しかった。場面ごとの「えびフライ」の働きを考えるだけではなく、物語全体における働きを考えることで、より「キーワード」の働きに注目できると考える。また、生徒自身が問いを持つために言語活動を大切に、時代背景や作者の思いなどを踏まえ、書かれている部分だけでなく行間を読むことも楽しませたい。

4 本時の学習指導

- ① 目標 「えびフライ」という言葉から、家族のつながりを考えることができる。
「盆土産」という題材名のもつ意味を考えることができる。

- ② 学習指導過程 ㊦「主体的に学びに向かう力」を育む工夫

学習内容及び学習活動	指導上の留意点支援	評価の観点・方法
<p>1 前時までの授業の確認をする。</p>	<p>・前時の授業を確認するために場面1と場面2で出た「えびフライ」の働きをもう一度確認する。</p> <p>・興味・関心を高める働き ・期待値を上げる働き ・父の愛情を示す働き ・家族感動させる働き</p>	
<p>場面3での「えびフライ」の働きを捉え、題材名のもつ意味を考えよう。</p>		
<p>2 場面3を読み、「えびフライ」という言葉を確認する。 【グループ】→【一斉】</p> <p>3 「えびフライ」の働きを考える。 【グループ】→【一斉】</p> <p>4 題材名「盆土産」について考える。 【個人】→【グループ】→【一斉】</p> <p>振り返り・まとめ</p> <p>5 本時の学習で学んだことをノートにまとめる。</p>	<p>・前時までの授業に沿って、「えびフライ」という言葉を誰が言っているのか。どのような気持ちで言っているのかを考えるように促す。</p> <p>・家族全員をつなげる働き ・語り手の記憶に残る働き</p> <p>・ここまでの学習の内容を踏まえて考えるように促す。 ・家族とキーワード「えびフライ」との関連性に気が付くようにする。</p> <p>・お盆という時期が大切であるため ・父からのお土産というところがポイントのため</p> <p>・ホワイトボードに各グループの考えを書いて、黒板に貼り、学級全体で確認する。</p> <p>㊦本時の学習で学んだことを用いて、ノートに自分の言葉で整理するよう促す。 ・キーワード「えびフライ」の働きを確認し、題名との関係を踏まえながら振り返ることを促す。</p>	<p>【思・判・表】</p> <p>A：題名の意味を適切な根拠をもとに考えることができしており、さらに「えびフライ」の働きを意識して書くことができている。</p> <p>B：題名の意味を適切な根拠をもとに考えることができている。[ノート]</p>

